

3

ようたさんたちは、分数のたし算について考えています。

(1) $\frac{1}{3} + \frac{2}{5}$ の計算をしましょう。

解答らん

--

※ 問題は、次のページに続きます。

(2) ようたさんたちは、 $\frac{1}{2}$ L と $\frac{1}{4}$ L を合わせると何 L になるのかを考えています。

式は、 $\frac{1}{2} + \frac{1}{4}$ になることがわかりました。



ようた

1 L を  とすると、 $\frac{1}{2}$ L は  と表すことができますね。



はなこ

わたし私も、 $\frac{1}{2}$ L を  と表して考えようと思います。

ようたさんたちは、 $\frac{1}{2} + \frac{1}{4}$ について、 をもとに考えました。



ようた

答えは $\frac{3}{4}$ L になりました。



はなこ

$\frac{2}{6}$ L ではないのかな。



ようた

$\frac{2}{6}$ L だとすると、 $\frac{1}{2}$ L と $\frac{1}{4}$ L をたしているのに、 $\frac{1}{2}$ L より小さくなっていますよ。

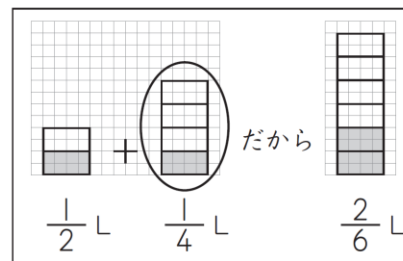


はなこ

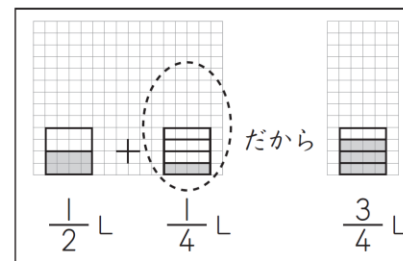
本当ですね。 $\frac{1}{2}$ L は 1 L の半分だから、半分よりも小さい $\frac{2}{6}$ L になるのは、おかしいですね。

はなこさんは、【はなこさんの考え】と【ようたさんの考え】を見て、【はなこさんの考え】の中の○を、【ようたさんの考え】の中の○のように直す必要があることに気がきました。

【はなこさんの考え】



【ようたさんの考え】



1 L の大きさを  と表すとき、【はなこさんの考え】の中の○は、【ようたさんの考え】の中の○のように直さなければいけません。

【はなこさんの考え】の中の○を直さなければいけないわけを、次のようにまとめます。

【ようたさんの考え】の中の○のように、
☐ ア L を 4 等分しなければいけないのに、
 【はなこさんの考え】の中の○は、
☐ イ L を 4 等分しているからです。

上の文の ア、イ に入る数を書きましょう。

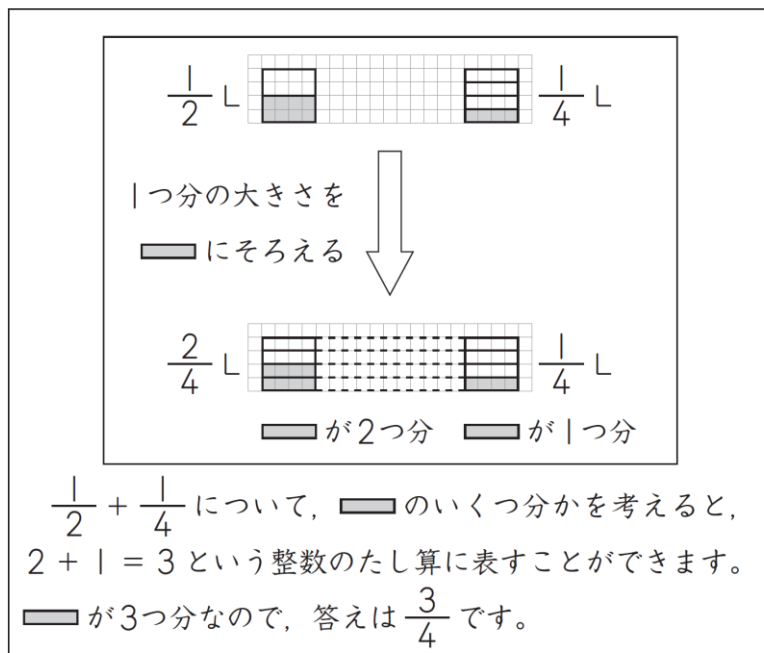
解答らん

ア	イ
---	---

※ 問題は、次のページに続きます。

(3) 次に、はなこさんは、 $\frac{1}{2} + \frac{1}{4}$ について、下のように考えています。

【はなこさんの計算の仕方】



【はなこさんの計算の仕方】の中の、1つ分の大きさの $\frac{1}{4}$ は、どれも同じ大きさで、次のように説明することができます。

1つ分の大きさの $\frac{1}{4}$ は、 $\frac{1}{4}$ Lを表しています。

上の文の $\frac{1}{4}$ に入る数を書きましょう。

解答らん

- (4) さらに、ようたさんたちは、分数のたし算で考えたことをもとに、小数のたし算でも同じように考えたことについてふり返っています。



はなこ

小数のたし算の学習でも、ある数のいくつ分かを考え、整数のたし算に表して、答えを求めることができましたね。

例えば、 $2.51 + 0.36$ も、同じように考えることができるのかな。

はなこさんは、 $2.51 + 0.36$ について、次のように説明しています。

【はなこさんの説明】

$2.51 + 0.36$ について、 0.01 のいくつ分かを考えると、 $251 + 36 = 287$ という整数のたし算に表すことができます。 0.01 が287個分なので、答えは2.87です。



ようた

$0.75 + 0.9$ も、同じように考えることができるのかな。

$0.75 + 0.9$ について、【はなこさんの説明】と同じように、ある数のいくつ分かを考え、整数のたし算に表して説明すると、どのようになりますか。言葉と式を使って書きましょう。

解答らん

3

ようたさんたちは、分数のたし算について考えています。

(1) $\frac{1}{3} + \frac{2}{5}$ の計算をしましょう。

解答らん

$$\begin{array}{r} 11 \\ \hline 15 \end{array}$$

※ 問題は、次のページに続きます。

(2) ようたさんたちは、 $\frac{1}{2}$ L と $\frac{1}{4}$ L を合わせると何 L になるのかを考えています。

式は、 $\frac{1}{2} + \frac{1}{4}$ になることがわかりました。



1 L を  とすると、 $\frac{1}{2}$ L は  と表すことができますね。



わたし私も、 $\frac{1}{2}$ L を  と表して考えようと思います。

ようたさんたちは、 $\frac{1}{2} + \frac{1}{4}$ について、 をもとに考えました。



答えは $\frac{3}{4}$ L になりました。



$\frac{2}{6}$ L ではないのかな。



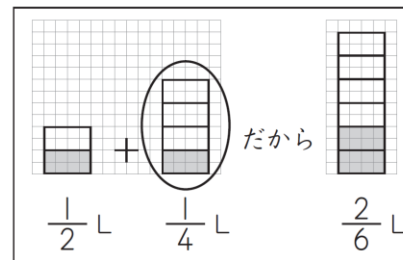
$\frac{2}{6}$ L だとすると、 $\frac{1}{2}$ L と $\frac{1}{4}$ L をたしているのに、 $\frac{1}{2}$ L より小さくなっていますよ。



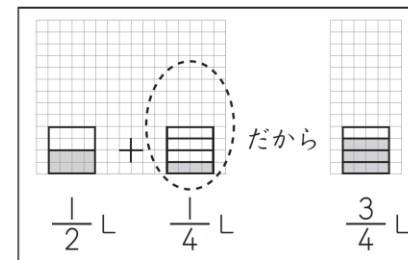
本当ですね。 $\frac{1}{2}$ L は 1 L の半分だから、半分よりも小さい $\frac{2}{6}$ L になるのは、おかしいですね。

はなこさんは、【はなこさんの考え】と【ようたさんの考え】を見て、【はなこさんの考え】の中の○を、【ようたさんの考え】の中の○のように直す必要があることに気がしました。

【はなこさんの考え】



【ようたさんの考え】



1 L の大きさを  と表すとき、

【はなこさんの考え】の中の○は、【ようたさんの考え】の中の○のように直さなければいけません。

【はなこさんの考え】の中の○を直さなければいけないわけを、次のようにまとめます。

【ようたさんの考え】の中の○のように、

ア L を 4 等分しなければいけないのに、

【はなこさんの考え】の中の○は、

イ L を 4 等分しているからです。

上の文のア、イに入る数を書きましょう。

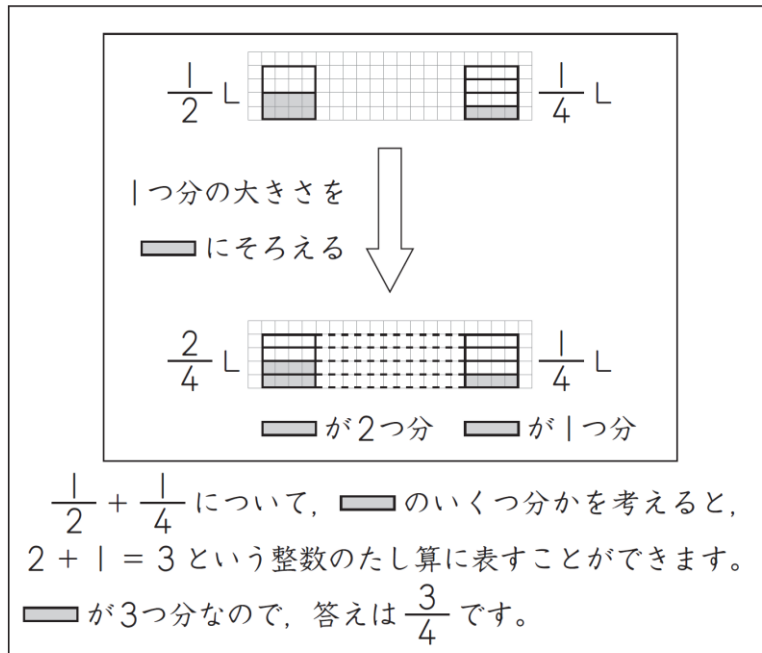
解答らん

ア	1	イ	2
---	---	---	---

※ 問題は、次のページに続きます。

(3) 次に、はなこさんは、 $\frac{1}{2} + \frac{1}{4}$ について、下のように考えています。

【はなこさんの計算の仕方】



【はなこさんの計算の仕方】の中の、1つ分の大きさの  は、どれも同じ大きさで、次のように説明することができます。

1つ分の大きさの  は、 L を表しています。

上の文の  に入る数を書きましょう。

解答らん

$$\frac{1}{4}$$

- (4) さらに、ようたさんたちは、分数のたし算で考えたことをもとに、小数のたし算でも同じように考えたことについてふり返っています。



はなこ

小数のたし算の学習でも、ある数のいくつ分かを考え、整数のたし算に表して、答えを求めることができましたね。

例えば、 $2.51 + 0.36$ も、同じように考えることができるのかな。

はなこさんは、 $2.51 + 0.36$ について、次のように説明しています。

【はなこさんの説明】

$2.51 + 0.36$ について、 0.01 のいくつ分かを考えると、 $251 + 36 = 287$ という整数のたし算に表すことができます。 0.01 が287個分なので、答えは2.87です。



ようた

$0.75 + 0.9$ も、同じように考えることができるのかな。

$0.75 + 0.9$ について、【はなこさんの説明】と同じように、ある数のいくつ分かを考え、整数のたし算に表して説明すると、どのようになりますか。言葉と式を使って書きましょう。

解答らん

(例)

$0.75 + 0.9$ について、 0.01 のいくつ分かを考えると、 $75 + 90 = 165$ という整数のたし算に表すことができます。 0.01 が165個分なので、答えは1.65です。